

JACS NEWSLETTER

日本消費者行動研究学会ニューズレター

第32巻第3号

発行日●2024年10月31日

発行●日本消費者行動研究学会事務局

第69回 消費者行動研究コンファレンスの概要

<統一論題>

「食と消費者行動のこれから」

秋の消費者行動研究コンファレンスの開催概要が決定しましたので、ご案内いたします。今秋は、例年よりも開催時期が遅くなっております。ご了承ください。

－開催概要－

開催日程：2024年12月7日（土）・8日（日）

開催校：大阪大学 豊中キャンパス（大阪府豊中市）

研究会参加費：5,000円〔学生会員は2,000円〕

懇親会参加費：5,000円

※研究会・懇親会とも参加申込時にクレジットカード支払い

参加申込方法：10月28日（月）よりJACS Website (<http://www.jacs.gr.jp/>) 受付開始

参加申込締切：11月27日（水）までに必ずお申込み手続きを行ってください

〔第1日目〕

09:40 - 09:45 開会の辞
09:45 - 12:30 論文プロポーザル賞
12:30 - 13:40 昼食休憩（役員会）
13:40 - 15:15 統一論題 基調講演
15:15 - 15:30 休憩
15:30 - 16:30 パネルディスカッション
16:30 - 16:45 休憩
16:45 - 17:30 会員総会
17:30 - 18:00 選挙
18:30 - 20:30 懇親会・授賞式

〔第2日目〕

10:30 - 12:00 自由論題研究報告
・午前の部
12:00 - 13:00 昼食休憩
13:00 - 14:00 自由論題研究報告
・午後の部①
14:00 - 14:10 休憩
14:10 - 15:10 自由論題研究報告
・午後の部②
15:10 - 15:30 閉会の辞

—統一論題—
「食と消費者行動のこれから」

石井 裕明（早稲田大学）

総務省統計局が実施している家計調査によると、2023年の二人以上世帯のエンゲル係数は27.8%に達し、現在の集計方式となった2000年以降で最高水準となりました。集計方式が異なる以前の数値も参考にすると、1983年以来の高水準になるそうです。その背景には、物価の高騰やライフスタイルの変化などの様々な要因が考えられますが、いかなる背景が存在するにせよ、消費支出に占める食費の割合であるエンゲル係数の上昇は、食に関する意思決定が従来以上に消費者行動の中心的存在になっていることを示唆しているはずで

す。消費者行動研究においても、食への注目は高まっています。消費者行動研究の世界的な学会である Association for Consumer Research は2016年に学会誌として *Journal of the Association for Consumer Research* を創刊しましたが、その創刊号のテーマは” The Behavioral Science of Eating: Encouraging Boundary Research That Has Impact” でした。同号のゲスト・エディターたちは、消費者行動研究の中心的な理論や現象と見なされるテーマが数多く議論されてきた一方で、食に関する消費者行動のような幅広い研究領域に大きなインパクトを与える可能性を秘めた境界領域のテーマが見過ごされていると指摘しました (van Ittersum and Wansink 2016)。日本消費者行動研究学会においては、隣接分野との接合を図る取り組みが積極的に進められてきていますが、少なくとも2000年以降に食と消費者行動を真正面から取り上げた議論は行われていないようです。

近年では、” Better Marketing for a Better World” に向けた世界的なトレンドを受け、*Journal of Consumer Research* や *Journal of Marketing* などにおいても、健康的な食生活やフードロス削減を実現する議論が積極的に進められるようになっていきます。また、日本消費者行動研究学会に所属されている先生方におかれましても、*Food Quality and Preference* といった食に焦点を当てた論文誌への投稿が多く見られるようです。改めて、食と消費者行

動研究について、議論を深める機運が高まっているのではないのでしょうか。

そこで、第69回のコンファレンスでは「食と消費者行動のこれから」をテーマに、3名の先生方からのご講演をいただきます。

一人目は、株式会社 Mizkan Holdings の塚田恭明先生です。塚田先生からは、同社が展開されている ZENB 事業の立ち上げに至る経緯や背景についてお話しいただきます。ZENB 事業では、「植物を可能な限りまるごと食べる」をコンセプトに掲げ、サステナブルな食糧生産や人々の健康に貢献できる商品開発が行われています。

二人目は、OISSY 株式会社の鈴木隆一先生です。鈴木先生は、AI 技術を用いてヒトの味覚を再現した味覚センサー「レオ」を開発し、食品の味覚分析などによるマーケティング支援などを行われています。国際的なフードテクスタートアップコンテストで世界一位の評価を獲得するなど、同社の先進的な取り組みは大きな注目を集めています。

三人目は、中央大学の朴宰佑先生です。朴先生は、センサリー・マーケティング研究をご専門とされ、*Food Quality and Preference* などでも多くの論文を発表されています。今回のご講演では、社会的に望ましい食行動と消費者行動研究の接点について、お話いただく予定です。

ご講演の後には、ご登壇の先生方によるパネル・ディスカッションも予定しております。パネル・ディスカッションの後半では、参加者の皆様からのご意見やご質問をいただきながら議論を進めていきます。


最後になりましたが、今回のコンファレンスの開催校をお引き受けいただきました勝又 壮太郎先生に心から感謝申し上げます。「天下の台所」「食い倒れの街」と呼ばれる大阪の地で、食と消費者行動に関する活発で有意義な議論が展開されることを期待しております。

学会誌「消費者行動研究」デジタル発行のご案内

学会誌「消費者行動研究」は、第28巻をもって紙媒体での発行を終了し、第29巻（奥付け2023年3月）の発行分より、デジタル版（PDF）でご覧いただけるようになりましたのでご案内いたします。（<https://www.jacs.gr.jp/book/read/>）

学会誌「消費者行動研究」を読む

第29巻よりデジタル発行（PDF）になりました。



[第30巻第1号 \(2023年10月\)](#)
[消費者行動研究 vol.30 No1](#)

[第30巻第2号 \(2024年3月\)](#)
[消費者行動研究 vol.30 No2](#)

J-STAGE では早期公開を含めすべての論文をオンラインで読むことが可能です。

なお印刷版（紙媒体）で発行されました第28巻までにつきましては、バックナンバー販売を行っております。ご購入を希望されます場合は、目次をご確認の上、事務局までご連絡ください。（<https://www.jacs.gr.jp/book/read/>）

印刷版（紙媒体）を購入する

バックナンバーご購入方法

★Vol.28までのバックナンバーの目次は[こちら](#)から（PDF）

※Vol.7およびVol.8は未刊です。

Vol.28までのバックナンバーの販売をしています。ご希望の方は下記をご参照の上、お申込下さい。

2009年より消費者行動研究のバックナンバーは一部を除いてJ-STAGEで公開しております。

お急ぎの場合はこちらをご利用下さい。

学会費の「銀行振込み」についてのお願い

会費納入に際しましては、事務局から郵送でお送りしている「郵便局の振込用紙」でのお振り込みをお願いしておりますが、銀行振込をご利用の場合、大学名や企業名などの「組織名」から入力されますと、振り込みました「個人名」が特定できないというケースが出てきます。「銀行振込」の際には、必ず「個人名」から記入していただきますよう、ご協力をお願い致します。

やむを得ず組織名から（または組織名のみ）の振込人名になる場合は、事務局まで e-mail にてご一報いただきますようお願い致します。

ご所属・ご住所の変更についてのお願い

★ご登録の所属先等が古いままで、更新されていない方が多く見受けられます。

ご所属やご住所が変更となる際には、必ず JACS 事務局へご連絡ください。お手数ではございますがよろしくお願い致します。

なお、会費納入時、「郵便局の振込用紙」に変更箇所を明記されるケースが見受けられますが、変更のご連絡は、下記 JACS 事務局までお願い致します。

JACS Website

(<https://www.jacs.gr.jp/admit/#change>) からご自身でも直接変更可能ですので、是非ご活用ください。

新入会員の募集について

本学会への入会を希望される方は
[学会 Website \(https://www.jacs.gr.jp/admit/ \)](https://www.jacs.gr.jp/admit/)
から入会申請を行ってください。

●入会資格

[学術会員]

消費者行動の研究・教育に従事する大学の専任教員、大学院在籍者（在籍経験者を含む）、およびそれに準ずる者（文部科学省が学術研究団体と認める学会の正会員、大学の非常勤講師としての教歴を有する者、等）。
但し、学術会員 1 名の推薦が必要。

[賛助会員]

本学会の趣旨に賛同する法人および個人。

●入会規定 <https://www.jacs.gr.jp/admit/>

●年会費

※令和 3 年度（2021 年度）より

[学術会員] 12,000 円

（但し、大学院生は 5,000 円に減免）

[賛助会員] 個人会員 1 口 5,000 円

法人会員 1 口 50,000 円

★法人会員には会員特典がございます。

詳しくは学会 Website

<https://www.jacs.gr.jp/info/#practitioner>

「賛助会員：会員特典」をご覧ください。

●日本消費者行動研究学会（JACS）事務局のご案内●

（事務局）小樽商科大学商学部 鈴木和宏研究室
〒047-8501 小樽市緑3丁目5番21号
E-mail: jacs.assist@gmail.com

（事務取扱）日本消費者行動研究学会 事務取扱
〒112-0012 東京都文京区大塚 5-3-13 4F
一般社団法人 学会支援機構内
Tel: 03-5981-6025 / Fax: 03-5981-6012
E-mail: jacs@asas-mail.jp



<JACS Website>

<https://www.jacs.gr.jp>